

兵庫県たつの市国民宿舎事業会計

経営健全化計画完了報告(要旨)

1 経営健全化計画の平成26年度実施状況

(1) 計画と具体的な措置の状況

たつの市国民宿舎事業会計において、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づいて平成26年12月25日に策定した経営健全化計画に沿って経営の健全化を進めてきた。

たつの市国民宿舎赤とんぼ荘及び志んぐ荘の2荘は、平成27年4月1日からの指定管理者制度導入に向けた準備を行ったほか、新舞子荘は160,000千円で民間売却を行った。

加えて、一般会計から735,070千円の支援を受けた結果、資金不足額は解消し、平成26年度の経常収支は288,933千円の黒字となった。

(2) 資金不足額解消の状況

(単位:千円)

年度 区分	計画初年度の前年度 (平成25年度)	計画最終年度 (平成26年度)
当初計画 A		280,930
解消実績額 B		280,930
現在計画 C		—
B-A 又は C-A		0
資金不足額	280,930	0

(3) 資金不足比率の状況

(単位:%)

年度 資金 不足比率	計画初年度の前年度 (平成25年度)	計画最終年度 (平成26年度)	
	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	36.0	—	—

(4) その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

一般会計からの補助金を最小限に抑えるためのコスト削減

- ① 委託料を対前年比で12,400千円の削減
- ② 備消耗品費を対前年比で7,940千円の削減
- ③ 燃料費を対前年比で8,456千円の削減
- ④ 広告宣伝費を対前年比で6,002千円の削減

2 今後の公営企業の経営の方針

(1) 健全な経営の確保に関する事項

① 収入の増加に関する事項

ア 赤とんぼ荘

指定管理者制度導入初年度は利用人数を維持しつつ、平成28年度からは料理のメニュー及び物販の改善により客単価をアップし、ハイキング客、ビジネス客の利用増により収益の増加を図る。

イ 志んぐ荘

指定管理者制度導入初年度は利用人数を維持しつつ、平成28年度からは料理のメニュー及び物販の改善により客単価をアップし、学生及び企業の研修施設としての利用増により収益の増加を図る。

② 支出の削減に関する事項

赤とんぼ荘及び志んぐ荘は、民間活力導入により、人件費及び原価率の圧縮を行う。

さらに平成28年度以降は利用者の増加に伴う経費の増加を最小限に抑えつつ、運営体制・人員の見直し等により、コスト削減を継続的に行う。

③ その他公営企業の経営の合理化に関する事項

国民の余暇の過ごし方、嗜好の変化など、時代の変遷とともに国民宿舎を取り巻く環境は大きく変化し、厳しい状況にあるが、民間活力導入等による、新たな経営形態への移行により、さらなるコスト削減や営業力の強化などに取り組み、着実な経営改善を図っていくものである。